

進路だより

県立向の岡工業高等学校 定時制総合学科
学習支援グループ 平成 31 年 4 月 19 日発行 (第 111 号)

【全年次向け】

「アルバイト」をしようと考えている皆さんへ

高校生になって「アルバイトを始めてみよう」と考える人も多いと思います。また、2～4年次生も保護者や教員のすすめでアルバイトに興味を持ち始めた人もいません。

アルバイトは昼間の時間を有効に活用でき、将来の進学費用を貯めたり、職業に対する意識を高めることにも繋がります。しかし、なかにはアルバイトが原因で欠時数が増え、進路決定が遅れるような事案も発生しています。

(1) 学校の授業と両立できるアルバイト先を選ぼう！

どんなに気に入ったアルバイト先でも、学校の授業と両立できないアルバイトはお勧めできません。例として一番わかりやすいのは「勤務の時間帯」です。夕方以降にシフトを入れようとするアルバイト先は避けましょう。

良い例 アルバイトと授業が両立できた良い例

アルバイトの種類等	おおまかな1日の流れ																							
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
コンビニで働き、3年次で卒業をしたAさん				起床			家事				仕事					授業					生徒会		帰宅	就寝
スーパーで開店前の準備のアルバイトをしていたBさん(4年次で卒業)		起床				仕事		一旦帰宅				自由					授業					帰宅		就寝

「良い例」のAさん、Bさんは単位を落とすこともなく、無事に卒業ができた例です。

Aさんは1・2時間目の授業を積極的に履修し、3年次生で卒業しました。在学中は生徒会活動、部活動でも活躍し、卒業後は神奈川県立産業技術短期大学校に入学しました。

Bさんは余裕をもって4年次で卒業をしましたが、アルバイトの経験が進路に結び付きました。就職活動では、スーパーで扱った野菜の鮮度や産地に興味を持ち、現在は市場で野菜を専門に扱う部門に勤務しています。

悪い例 アルバイトと授業が両立できていない例

アルバイトの種類等	おおまかな1日の流れ																							
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
工事現場でアルバイトをしていたCさん			起床		仕事 現場が遠いので遅刻する													授業	帰宅		自由	就寝		
ファストフード店でアルバイトをしていたDさん			起床		仕事 他のアルバイトが休んだ時にシフトに入れられる													授業	帰宅			就寝		

「悪い例」のCさん、Dさんは、卒業することはできましたが、アルバイトが原因で欠時数が多くなり、卒業も遅れました。

Cさんは工事現場でアルバイトをしていましたが、現場が遠方であったため、授業に間に合わないことが非常に多い生徒でした。3・4時間目の授業を中心に欠時数が増え、単位が修得できない科目が目立ちました。

Dさんはファストフード店でアルバイトをしていました。はじめのうちは授業に影響が出ないようにアルバイトをしていましたが、同じ職場の全日制の高校生がアルバイトを休んだ際に、代わりにシフトに入ることが増えてしまいました。欠時数が増えてしまったことにより、卒業見込みが立たなくなり、就職活動に大きな影響がでました。

(2) 一番大切なのは「学業」です。

厚生労働省や文部科学省では「高校生等のアルバイトの労働条件の確保について」と題して、業界団体に対して高校生を雇用する際に「配慮すべきこと」を要請しています。

そのなかに「試験の準備期間や試験期間中などに、本人の希望に反してシフトを入れていませんか」というチェック項目があります。「学校」をメインにアルバイトをしているうちは良いのですが、「アルバイト」をメインにしてスケジュールを考え始めると、授業が疎かになります。

アルバイト先を選ぶ際に一番大切なのは、皆さんの学業に対して配慮をしてくれる職場を選ぶことです。配慮のある職場であれば、「この期間は勉強をしたい」と申し出ればシフトを減らしてくれたり、授業に影響が出るような無理なシフトは組まないと思います。

情報収集をし、学業に配慮をしていただける職場を探してみましょう。

「ふりがな」つきは裏面へ